

資格取得・就職支援

●キャリアデザイン入門



●キャリアサポート
○国家試験対策スタート

○編入学希望者への専門科目指導
○国家試験対策(模擬試験&実力別指導)

○就職対策講座・個別面談

○国家試験

早期から実際の現場や職員の働く姿勢を学ぶ

利用者の理解および利用者・家族とのコミュニケーションの実践に主眼を置く入門的な実習です。まだ何もできずに戸惑う学生も多いですが、実習終了後グループワークを通じてそれらを共有し、不足している知識や技術を再認識します。入学直後に現場を知ることにより、実際の利用者さんをイメージしながら学内講義を学ぶことができます。

全員が障がいを持った方への介護実習を経験

知的障がい、身体障がい、重症心身障がい児の3つの障がい者施設で実施する2泊3日の実習です。利用者理解、コミュニケーション、他職種協働の実践、介護技術の確認などを行うことに主眼を置き、全員が障がい者(児)への介護を経験できる全国的にも珍しい実習です。この経験から、障がい者支援に興味を持ち、進路を決定する学生もいます。

実習

学内学修

40時間 介護基礎実習(6月)

学内学修

80時間 介護基礎実習(8月)

20時間 介護応用実習(9月)

自発的な学修

基礎ゼミ



基礎ゼミ

学内学修

120時間 介護応用実習(3月)

実習の心がけ

利用者さんの話を、まずは聞いて受け入れること。内容を理解することは大変なこともあります。自分なりに理解しようと努力することが大切です。



介護計画の作成、実践

利用者さんの生活の改善点や足りないところを見つけて介護計画を立て、実践していきます。計画通りに進まないこともあります。課題や次に活かせることを考え、さらなる実践につなげます。



学内学修

40時間 介護応用実習(8月)

学内学修

在宅介護や小規模な施設での介護

訪問介護、グループホームなどで利用者理解、他職種協働を学ぶ実習です。事前に学内で調理実習等の家事援助を学び、利用者宅での訪問介護や家事援助、認知症高齢者が共同生活を行う家庭的な住居(グループホーム)での介護に臨みます。

介護過程の継続的な実践

ひとつの施設または事業所等で一定期間以上継続して実習を行い、利用者さんごとの介護計画、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正など一連の介護過程を継続的に実践します。並行して、学内の「介護過程」「介護総合演習」を受講することでスーパービジョンを行い、客観的な視点を身につけます。

学内学修

150時間 介護過程展開実習(10~11月)

学内学修

実習事例報告会 介護過程展開

2年間の集大成!

実習終了後、介護過程展開実習の学びをレポートにまとめ、青陵ホールで行なわれる報告会で発表。1年生や他学科学生、教員の前で自分自身の実践経過をプレゼンテーションする、2年間の学びの集大成となるイベントです。



学びのねらい

- 短大での学び方を知る
- 自己理解、他者理解を深め、コミュニケーションスキルを修得する
- 学内学修と実習を交互に履修しながら介護の基本を学ぶ

- 様々な障がいや病気を有する人々の生活を知り、専門的な介護方法を修得する

- 個々の利用者に応じた介護方法を専門的に考え、実践することができる力を修得する
- 将来の進路を定め、実現に向けて活動する

- これまでの学びの統合化
- 介護福祉士としての専門性を高め、生涯学習の方法を修得する
- 国家試験の合格に向けて学修する

1年次前期

1年次後期

2年次前期

2年次後期